

令和4年度 第4回三条市環境審議会会議録

- 1 日 時 令和5年3月22日(水)午後2時00分～3時00分
2 場 所 三条市役所 第二庁舎 3階 301会議室
3 出席委員 渡邊誠介 近藤雄介 高橋由紀子 田中修作 名古屋金市
熊倉睦 上村康司 米田和広 大沢昌一郎 川崎光枝
内藤一恵 長谷川正樹

(以上12名)

(欠席委員 林八寿子 土田栄林)

- 4 市出席者 上原市民部長 五十嵐環境課長 長谷部環境課長補佐
佐藤環境政策担当主査 西川環境衛生係長
坂上生活安全・交通係長 目黒ごみ減量係長 阿保主任

5 傍聴者 なし

6 報道機関 なし

7 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

ア パブリックコメントの実施結果を踏まえた第3次三条市環境基本計画(案)について

事務局から、資料No.1、2により説明あり

長谷川委員： 資料No.1、20ページNo.67「生物多様性」の用語解説として、資料No.2、84ページで説明が追加されているが、食物連鎖のような例えが記載されている。生物多様性は、様々な定義があるようだが、修正した方がよいのではないか。

米田委員： 環境の面から見た生物多様性については、資料の記載も今の発言も正しい。ここでは、多様な生物がいろんな関係の中で地球上で継続をしているっていうそのバランスが非常に良く、このバランスを保つということが、その中の一つである私達人間にとっても非常に住みやすい生活場所ということから多様性の保全の必要性をうたっているところかと思うので、もう少し補足説明があった方がよいと思う。

五十嵐課長： 若干分かりにくい表現があったので、他の説明を参考に修正を行う。

米田委員： 資料 No. 2、50 ページで指標としてリサイクル率を追加するとの説明があったが、基本計画の中には、一般廃棄物のごみ、事業系のごみ、家電リサイクルのごみが記載されており、リサイクル率と記載しても何のリサイクル率かが分からない。例えば一般廃棄物など、補足した方がよいと思う。

パブリックコメントの回答についての意見であるが、資料 No. 1、4 ページ SDGs に対する市の考え方について、第 1 回環境審議会でも SDGs について記載しないのかを議論をさせていただいた。最終的に SDGs を記載しなかったのは、市の総合計画に準じたものとして、環境基本計画を定めたということで結論を取ったと思っている。この回答を見ると、SDGs を入れない理由とについて、環境基本計画の中でこのような取組をすると記載しているが、その回答に加えて、SDGs ではなく、施策の方を見た切り口でこれらの取組をやるということをパブリックコメントの回答に加えてはどうか。

資料 No. 1、5 ページ再生可能エネルギーについての取組に対する意見がある。この議論についても、審議会の中で再生可能エネルギーをもっとやるべきではないかという意見があった。その中で、市として政策を検討した結果が、この内容と思っているが、再生可能エネルギーの取組については、これで完全と言いきるのには少し怖いところがある。この回答の中で一番最後に研究してまいりたいと考えておりますと書かれているが、基本計画では状況や必要があれば計画を見直すということが書かれているので、研究した結果、必要が生じた際には、計画の変更等についても考えていきたいぐらいな姿勢を示していただけたらと感じた。

五十嵐課長： リサイクル率については、一般廃棄物であることから、明確に記載をする。

SDGs についての市の考え方は、資料 1 パブリックコメント一覧に記載のとおりであるが、指摘の内容を整理した中で、パブリックコメント一覧を修正する方向で考えたい。

再エネの取組については、計画の変更についても記載した方がよいと考えているので、研究をし、場合によっては計画変更も視野に入れるという趣旨の文言を追記させていただきたい。

長谷川委員： 資料 No. 2、新設 56 ページは、パブリックコメントを受けて新たに追加しているが、グラフの文字や数字が小さいので、可能であればもう少し大きくしてほしい。グラフに赤と青の折れ線や直線が記載されているが、それぞれが何を表すかという説明がないので、追記した方がよい。

五十嵐課長： 文字については、他のフォントと同じだと思うので、このとおりとさせていただきたい。グラフの文字の大きさやそれぞれ何を表しているかについては、このグラフを見ただけで分かるよう追記する。

高橋委員： 資料 No. 1、16 ページ No. 50 の対応として、資料 No. 2、50 ページで、企業向け脱炭素セミナーについて書かれているが、どのようなセミナーを行うか等想定はあるのか。現状値 0 から目標が 160 社であるが、大丈夫なのか。

五十嵐課長： 脱炭素に向けた企業への説明会参加企業数については、市の総合計画でも目標値として掲げている。

セミナーを 4 回開催し、このぐらいの事業者を集めたいという目標を掲げており、整合性を合わせたところである。具体的な計画についてははっきり決まっていないが、おおむね 4 回開催し、1 回あたり 40 社程度を目標としている。今後、具体的にどういった内容をやるかについては、商工会議所や工業会等と意見交換をし、決めていきたい。

内藤委員： 用語解説から本編のページの用語を探すことはできるが、計画を読み進めるときに、この用語に用語解説があるということが分からない。

五十嵐課長： 本編の中にアスタリスクを付けるなどし、用語解説に記載されている用語が本編中でも分かるようにする。

名古屋委員： 資料 No. 1、9 ページ、No. 27 の一番下に「間伐や伐期を迎えた樹木を伐採するなどの適切な森林の整備」と記載があるが、伐採した後は、植えないとカーボンニュートラルにとって弱い。伐採したら再造林をしないと適切な森林の整備管理と CO2 の削減にはなかなか貢献できないと言われているため、今の趣旨からすると、木を更新する何か一言を変えてもらいたい。計画上、切っ

たら植えるということが大事だと思うので、追記などを検討してほしい。

五十嵐課長： 伐期を迎えた樹木を伐採するなどの中に再造林も含めていたと考えていたが、樹木を伐採することに加え再造林するなど、再造林もしくは植林という言葉で回答として付け加えたい。

渡邊会長： これまでの審議会ではバイオマス発電、いわゆる里山や生物多様性の話など、いろいろな議論があって、ここまで一応まとまってきた。一番大切なのは三条市の関係者や市民の皆様が環境を良くしようというマインドセットを持つことだと思う。

いろいろ調査をしたという話もあるが、今は調査の仕方も様々あり、団体や業界コンサルタントにお願いし、データを集めるという方法から、場合によっては、新しい企業がアプリを作ってスマホで蝶々を見つけた年月日やその種類が分かるようなビッグデータにしていくというようなものが生まれている。やり方もいろいろな分野で全部行政が計画を作り、市民民間がそれに従うというよりは、やり方、進め方も多様性が出てくると思う。そういう意味でこの書き方もそういうアドバンスがあるので、もっと何かいろいろ自発的に皆さんに周知しましょうというような書きぶりになってればよいと思う。

熊倉委員： 東京のビックサイトで小エネルギー展示会があり、参加してきた。そういう場に市の職員が参加し、勉強してほしい。

川崎委員： 資料 No. 1、21 ページの記載について、回答の記載の仕方を柔軟にできないか。

五十嵐課長： 表現の仕方について修正させていただく。

近藤副会長： 特定外来生物についての表などがあれば示してもらいたい。

西川係長： 特定外来生物の関係については、広報さんじょうでの周知やホームページで掲載を行っている。

名古屋委員： 有害鳥獣被害が広がっているが、計画のどこかに記載はあるか。

五十嵐課長： 資料 No. 2、27 ページに里山環境の整備のところで野生鳥獣と

の共生に向けた緩衝帯整備について記載している。

長谷川委員： 今回の計画は6年間であるが、三条市の財政面の改善や国の積極的な支援策等、今後の情勢が変わった際には、積極的に再生可能エネルギーを導入するなど、将来的なカーボンゼロのために三条市としてできることを進めていただきたい。

五十嵐課長： 財政面や国の補助金等の状況が変われば、取り組めるものは取り組みたいと考えているため、積極的に情報収集に努め、やれるところはやっていきたい。

熊倉委員： 下田地区で有害鳥獣の被害を受けており、猟友会に捕獲を依頼している。有害鳥獣が捕獲された後の処理の仕方として、他県ではジビエとして活用している。捕獲後の処理の仕方について、検討してほしい。

米田委員： 今回の審議会の意見を基に見直した部分の修正については、会長に一任したい。

渡邊会長： 第3次三条市環境基本計画については、本日審議した内容をもって当審議会の審議結果として報告する。

各委員： 拍手にて承認。

(3) 閉会